

会社情報



会社概要

2020年12月31日現在

商号	ホシザキ株式会社 (HOSHIZAKI CORPORATION)
所在	本社 〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 (代表電話) 0562-97-2111
設立	1947年2月5日
市場	2008年12月10日：東京証券取引所市場第一部 並びに名古屋証券取引所市場第一部
資本金	80億21百万円
事業内容	製氷機、冷蔵庫、食器洗浄機をはじめとする 各種フードサービス機器の研究開発及び製造販売
決算	12月31日
従業員数	(連結) 12,555名 (単体) 1,197名
連結子会社	国内17社 海外33社(合計50社)
持分法適用会社	海外1社

役員

2021年3月25日現在

取締役会長	坂本 精志	常務執行役員	小倉 大造
代表取締役社長	小林 靖浩	常務執行役員	落合 伸一
取締役	友添 雅直*	常務執行役員	古川 義朗
取締役	吉松 加雄*	執行役員	水谷 正
取締役 常務執行役員	丸山 暁	執行役員	後藤 修
取締役 常務執行役員	栗本 克裕	執行役員	藤岡 渉
取締役 常務執行役員	家田 康嗣	執行役員	秋田 孝
取締役 常務執行役員	矢口 教	執行役員	大場 則夫
取締役 常勤監査等委員	世古 義彦	執行役員	原 幹弘
取締役 監査等委員	元松 茂*		
取締役 監査等委員	柘植 里恵*		

※は社外取締役

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵送物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
(よくある ご質問(FAQ))	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

▶ 配当金のお振込指定手続きについて
配当金の受取り方法として、お振込みによるお受取りをご選択いただくことができます。株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取り、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込による配当金のお受取りをお勧めします。詳しくは、お取引証券会社等にお問合せください。

▶ 株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話番号先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

▶ 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主・投資家の皆さまへ

ホシザキグループ報告書

第75期 (2020年1月1日~12月31日)



ホシザキ株式会社

〒470-1194 愛知県豊明市栄町南館3番の16 総務部総務課
TEL:0562-96-1111 FAX:0562-97-7427

証券コード：6465

新型コロナウイルス感染によるマイナス影響からの 早期回復及び事業基盤の再強化を目指す



代表取締役社長
小林 靖浩

存在意義

私たちホシザキグループは、多様化する「食」に対するニーズの変化に対応し、お客様のみならず社会に貢献できる「進化する企業」であることを目指します。これを満たすため、独自の技術に基づくオリジナル製品を創造し、より快適でより効率的な食環境へ向けての新たな提案と迅速かつ高品質なサービスを提供します。

経営姿勢

- ▶ 遵法はもとより社会と社員から信頼される会社づくり
- ▶ 透明性のある経営 議論のできる経営の実践
- ▶ 事業活動と環境との調和 働きやすい職場環境の実現

良い製品は良い環境から

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

▶ 当期(2020年12月期)の業績の総括

当連結会計年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の断続的な拡大による個人消費の減少、雇用情勢悪化の影響により、総じて厳しい状況で推移いたしました。

海外におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためのロックダウン(都市封鎖)が実施される等、経済活動は、国内以上に大きな影響を受けました。

このような環境のなか、当社グループは、国内におきましては、新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、主力製品の拡販と新規顧客の開拓に注力いたしましたが、フードサービス産業への新型コロナウイルス感染症の影響は特に大きく、苦戦を余儀なくされました。

海外におきましては、主力製品の拡販に努めたものの、ロックダウンによる営業・生産活動への制約等、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を大きく受ける状況で推移いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高は

2,383億14百万円(前期比17.9%減)、営業利益は当社グループを挙げて経費削減に取り組みましたが184億47百万円(同43.5%減)、経常利益は174億20百万円(同49.1%減)となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は114億42百万円(同53.2%減)となりました。

▶ 2021年12月期の取り組み

国内の大都市圏においては、2021年1月上旬に発令された緊急事態宣言に伴う外出自粛要請及び飲食店の営業時間短縮等によって、フードサービス産業の設備投資需要においてマイナス影響を受けることが想定されます。海外も中国、台湾等東アジア各国を除くと、新型コロナウイルスの感染は収束しておらず、フードサービス産業の事業環境は依然厳しい状態が継続しています。今後、ワクチンの普及によって段階的な収束が期待されますが、フードサービス産業が現在受けているマイナス影響は大きく、お客様の設備投資が2019年水準に回復するのは早くても2023年以降と想定されます。こうした事業環境を慎重に考慮し、当社グループの2021年12月期の業績予想については、連結売上高2,500億円(対前年同期比4.9%増)、営業利益200億円(同8.4%増)を見込んでおります。

非常に厳しい事業環境の下、当社グループは引き続き利益率改善にこだわり、徹底的なコストダウンに取り組むことで、損益分岐点売上高比率の低減を目指します。成長戦略としては、国内外において、既存顧客の深掘りに加えて、新規顧客の開拓を追求します。

国内においては、飲食市場のお客様のニーズにお応えしつつ、飲食外市場のお客様の開拓を積極的に行います。そのために、飲食外市場においても営業とサービスとの戦略的な連携強化、自社開発に加えて他社との協業も積極的に行い、品揃え強化を目指します。さらに、2021年年初から営業支援システム(タブレット)を本格的に稼働し、営業活動の効率化と精度向上を推進し、営業の生産性改善を目指します。

国内と比較して小規模のグループ会社が多い海外においては、業績変動に備えて現金創出力の強化にも積極的に取り組みます。今期から新たにCCC(キャッシュ・コンバージョン・サイクル)を管理指標に採用し、債権・債務及び在庫管理を一段と強化します。今年1月1日付で当社にグローバル技術部とグローバル製造部を新設し、海外グループ会社の設計及び製造機能を支援すると同時に、グループ会社間での成功、失敗事例を迅速に水平展開することで、グループ全体の底上げを目指します。

今期からは当社グループはESGへの取り組みを一段と強化いたします。今年3月に当社ホームページ上に過去の取り組みを公表しましたが、今後段階的に内容の充実を図り、将来的には企業価値向上に向けたESGの活動目標等も開示していきます。

株主の皆さまには、今後とも「フードサービス産業の世界No.1」の実現に向けた当社グループの挑戦にご期待いただき、引き続き当社グループの経営にご理解とご支援をお願い申し上げます。

トピックス

五大陸をつなぐ世界No.1ブランドを目指して、国内外で積極的な取り組みを推し進めています。

国内での取り組み

デザイン冷凍冷蔵庫BK・VBモデルが「2020年度グッドデザイン賞」を受賞

デザイン冷凍冷蔵庫BK・VBモデルが、2020年度グッドデザイン賞を受賞しました。オープンキッチンに調和する質感の高いステンレスの外装や、使い勝手に配慮したハンドルのデザインが高く評価されました。当社では今後も、ものづくりにおけるデザインの活用を積極的に推進し、ブランドイメージの向上に努めていきます。

本製品開発の背景

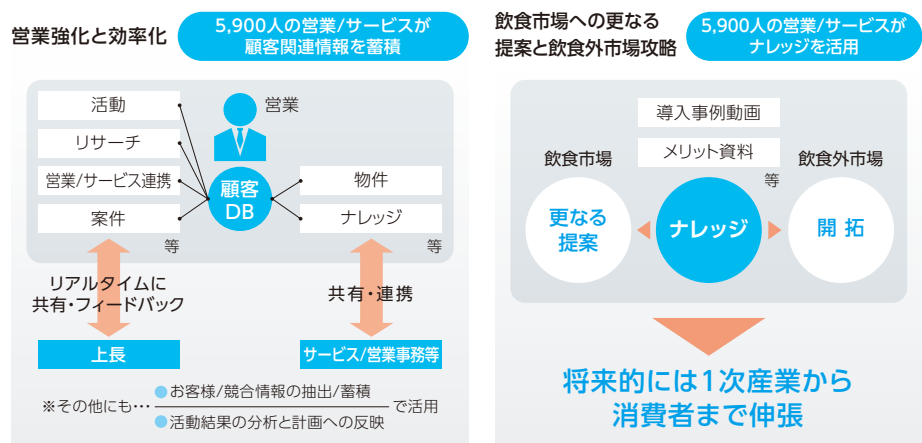
オープンキッチン形式の飲食店の増加により、厨房機器は店舗インテリアの一部となっており、デザイン性が求められています。そこで、厨房に「魅せる」要素をプラスした「ブラックステンレス」と、光沢を抑えた優しい質感で、落ち着いた空間を演出する「パイプレーション加工」の2つのバリエーションからなる本製品を開発いたしました。



代表機種:RT-150SNG-VB、HR-120A-BK

営業支援システムとタブレット活用による営業力強化

営業支援システムとタブレットの活用により、リアルタイムでの情報反映と活動の可視化を実現します。活動情報を即時共有することで、顧客対応スピードを上げるとともに、事務作業を軽減し、本来注力すべき活動に専念する時間を作り出すことで、営業強化と効率化を図ります。また、個人の経験・勘に依存せず、ナレッジを組織で共有・活用することで、既存市場と新規市場を網羅的に攻略していきます。



海外での取り組み

米州 ホシザキアメリカ ホールインアイス製氷機発売

ホシザキアメリカは、米国市場向けにホールインアイスメーカーを2020年7月より販売開始。一般的に丸氷は業者からの購入あるいは、手作業で立方体のブロックアイスのカットして作りますが、本製品は、手に触れることなく全自動で日産約500個の丸氷を製氷できることから、衛生的かつ省力化といった導入メリットがあります。飲料サービスにおける衛生・省力化のニーズが高まるなか、レストランバーのみならず、バーを併設するホテルやカジノ等、多岐に渡る業界のお客様の需要を見込んでいます。



ホールインアイス製氷機「IM-50BAA-Q」

全米レストラン協会主催の
Kitchen Innovations®賞
受賞製品

オペレーション改善、自動化、作業効率化、安全性、環境面への取り組み等に対し大きな貢献が認められる製品に与えられる賞



ホールインアイスとは?
ゴルフボールサイズの球形で丸氷と呼ばれ、角氷と比べて表面積が小さいことから溶けにくく、オン・ザ・ロックでお酒を飲む場合に使用されています。

欧州 ホシザキヨーロッパ 環境配慮型商品の拡販を推進

欧州子会社であるホシザキヨーロッパは、環境意識が高い欧州市場のニーズに対応し、欧州で一般的になりつつあるノンフロン冷媒（プロパン）を採用したクレセントアイス製氷機「KMD-210AB-HC」を2020年1月に発売しました。今後も海外市場において市場適合製品を継続投入することによりフードサービス機器メーカーとしてのプレゼンスを高めてまいります。



クレセントアイス製氷機「KMD-210AB-HC」

特長
高品質な氷
低ランニングコスト
高耐久
環境配慮



欧米を中心としたファーストフード店で広く採用されている三日形のクレセントアイス

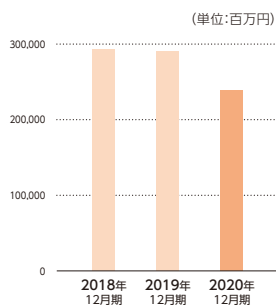
▶ 連結財務ハイライト

連結財務ハイライト

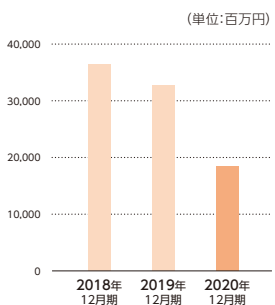
(単位: 百万円)

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期
売上高	292,774	290,136	238,314
営業利益	36,446	32,664	18,447
経常利益	36,372	34,224	17,420
親会社株主に帰属する当期純利益	25,717	24,437	11,442
純資産	223,510	242,038	239,711
総資産	334,879	351,887	343,393

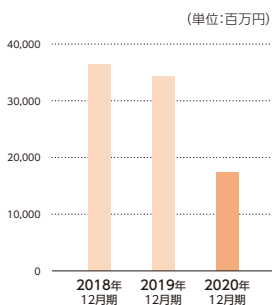
▶ 売上高



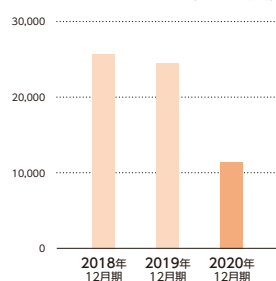
▶ 営業利益



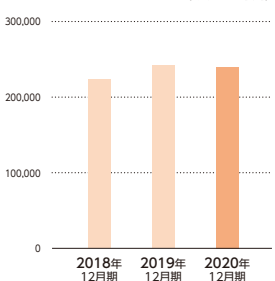
▶ 経常利益



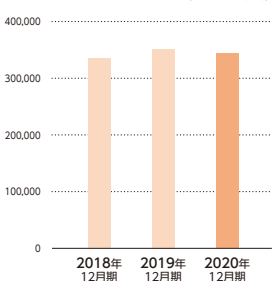
▶ 親会社株主に帰属する当期純利益



▶ 純資産



▶ 総資産

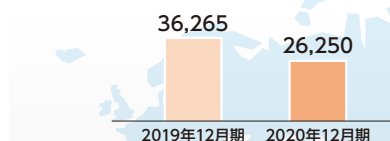


▶ 連結セグメント情報

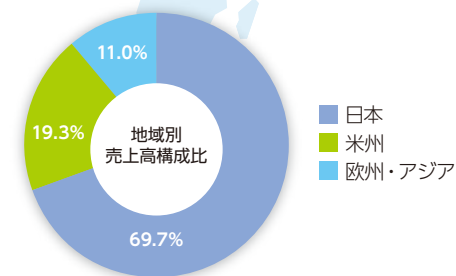
地域別売上高

(単位: 百万円)

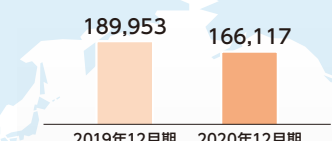
▶ 欧州・アジア



主力製品の拡販に努めるとともに継続的に経費削減にも取り組みましたが、各国で実施されたロックダウンによる営業・生産活動への制約の影響等を吸収できず、売上高は2億6250百万円(前期比27.6%減)、セグメント利益は1億73百万円(同68.0%減)となりました。

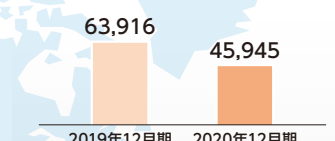


▶ 日本



冷蔵庫、製氷機、食器洗浄機及び電解水生成装置等の拡販並びに新規顧客の開拓を推進するとともに、コロナ禍でテイクアウトやデリバリー事業への展開を図る顧客への支援にも取り組み、また、継続的に経費削減の取り組みを行いました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、売上高は1,661億17百万円(前期比12.5%減)、セグメント利益は143億29百万円(同34.1%減)となりました。

▶ 米州

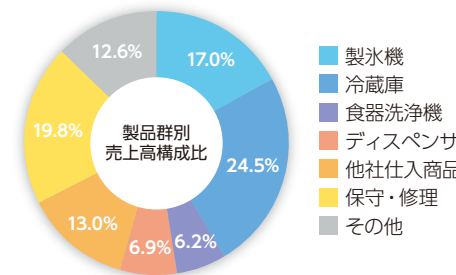


製氷機、ディスペンサ等の拡販に努めるとともに継続的に経費削減にも取り組みましたが、米国で実施されたロックダウンによる営業・生産活動への制約の影響等を吸収できず、売上高は45億945百万円(前期比28.1%減)、セグメント利益は32億86百万円(同57.0%減)となりました。

※エリア等を基軸に各法人を集約した「日本」、「米州」、「欧州・アジア」をセグメントとしております。
※各地域の売上高は「外部顧客に対する売上高」となっております。

製品別売上高

(単位: 百万円)



	2019年12月期	2020年12月期
製氷機	51,528	40,491
冷蔵庫	75,038	58,564
食器洗浄機	20,104	14,723
ディスペンサ	26,139	16,530
他社仕入商品	37,799	30,986
保守・修理	50,763	47,072
その他	28,763	29,946
合計	290,136	238,314

連結財務諸表

1 流動資産

受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したことから、流動資産は前期末比41億2百万円減少し、2,772億41百万円となりました。

2 固定資産

建物及び構築物が減少したことから、固定資産は前期末比43億90百万円減少し、661億52百万円となりました。

3 資産合計

流動資産、固定資産ともに減少したことから、総資産は前期末比84億93百万円減少し、3,433億93百万円となりました。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 2020年12月31日現在	前期末 2019年12月31日現在	増減額
資産の部			
1 流動資産	277,241	281,343	△4,102
現金及び預金	217,212	215,093	2,118
受取手形及び売掛金	27,122	31,708	△4,585
商品及び製品	14,549	16,376	△1,826
仕掛品	3,642	3,495	146
原材料及び貯蔵品	10,214	10,464	△250
その他	4,707	4,360	347
貸倒引当金	△207	△155	△52
2 固定資産	66,152	70,543	△4,390
有形固定資産			
建物及び構築物(純額)	15,295	16,902	△1,606
機械装置及び運搬具(純額)	7,092	7,939	△846
工具、器具及び備品(純額)	1,906	2,300	△394
土地	14,489	15,656	△1,167
リース資産(純額)	687	866	△179
建設仮勘定	2,874	636	2,237
無形固定資産	3,510	4,695	△1,184
投資その他の資産			
投資有価証券	9,311	10,295	△984
繰延税金資産	9,112	9,434	△321
その他	2,075	2,022	53
貸倒引当金	△203	△208	5
3 資産合計	343,393	351,887	△8,493

	当期末 2020年12月31日現在	前期末 2019年12月31日現在	増減額
負債の部			
流動負債	80,265	86,878	△6,613
支払手形及び買掛金	16,052	16,555	△502
未払法人税等	1,632	3,519	△1,886
前受金	26,070	26,829	△758
製品保証引当金	1,823	1,671	151
その他の引当金	2,849	3,348	△498
その他	31,836	34,953	△3,117
固定負債	23,416	22,970	446
役員退職慰労引当金	238	233	4
退職給付に係る負債	19,835	18,826	1,008
製品保証引当金	994	1,244	△249
その他	2,348	2,666	△317
負債合計	103,681	109,848	△6,167
純資産の部			
株主資本	248,803	245,328	3,475
資本金	8,021	8,021	—
資本剰余金	14,543	14,543	—
利益剰余金	226,244	222,768	3,476
自己株式	△5	△4	△0
その他の包括利益累計額	△10,659	△4,796	△5,862
その他有価証券評価差額金	11	94	△83
為替換算調整勘定	△8,829	△3,196	△5,633
退職給付に係る調整累計額	△1,841	△1,695	△146
非支配株主持分	1,568	1,506	61
純資産合計	239,711	242,038	△2,326
負債純資産合計	343,393	351,887	△8,493

4 流動負債

未払法人税等、前受金が減少したことから、流動負債は前期末比66億13百万円減少し、802億65百万円となりました。

5 固定負債

退職給付に係る負債が増加したことから、固定負債は前期末比4億46百万円増加し、234億16百万円となりました。

6 負債合計

固定負債が増加した一方で、流動負債が減少したことから、負債合計は前期末比61億67百万円減少し、1,036億81百万円となりました。

7 純資産

純資産は前期末比23億26百万円減少し、2,397億11百万円となりました。

連結財務諸表

連結損益計算書 (単位: 百万円)

	当期 2020年1月1日~ 2020年12月31日	前期 2019年1月1日~ 2019年12月31日	増減額
売上高	238,314	290,136	△51,821
売上原価	149,261	180,671	△31,410
売上総利益	89,053	109,464	△20,410
販売費及び一般管理費	70,605	76,799	△6,194
営業利益	18,447	32,664	△14,216
営業外収益	2,204	2,329	△124
受取利息	719	1,821	△1,101
助成金収入	900	—	900
その他	584	507	77
営業外費用	3,232	769	2,462
支払利息	34	17	16
為替差損	2,307	426	1,880
一時帰休費用	671	—	671
その他	218	325	△106
経常利益	17,420	34,224	△16,803
特別利益	83	103	△20
投資有価証券売却益	77	98	△21
その他	5	4	1
特別損失	215	63	151
固定資産廃棄損	40	34	5
投資有価証券評価損	125	—	125
その他	49	29	20
税金等調整前当期純利益	17,288	34,263	△16,975
法人税、住民税及び事業税	5,144	10,039	△4,895
法人税等調整額	519	△521	1,040
法人税等合計	5,663	9,518	△3,854
当期純利益	11,624	24,745	△13,121
非支配株主に帰属する当期純利益	181	307	△125
親会社株主に帰属する当期純利益	11,442	24,437	△12,995

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	当期 2020年1月1日~ 2020年12月31日	前期 2019年1月1日~ 2019年12月31日	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,734	30,455	△9,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	29,645	△30,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,281	△5,908	△2,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,193	△645	△4,547
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,029	53,546	△47,517
現金及び現金同等物の期首残高	142,803	89,256	53,546
現金及び現金同等物の期末残高	148,833	142,803	6,029

8 売上高

国内は、新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ主力製品の拡販と新規顧客の開拓に注力し、海外は主力製品の拡販に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大の影響を大きく受け、売上高は前期比17.9%減の2,383億14百万円となりました。

9 営業利益/経常利益

当社グループを挙げて経費削減に取り組みましたが、営業利益は前期比43.5%減の184億47百万円となり、経常利益は、前期比49.1%減の174億20百万円となりました。

10 親会社株主に帰属する当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比53.2%減の114億42百万円となりました。

11 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、207億34百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が172億88百万円、売上債権の減少が53億84百万円あったことによるものです。

12 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、12億29百万円の支出となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出が46億83百万円、定期預金の純減による収入が37億14百万円あったことによるものです。

13 現金及び現金同等物の期末残高

現金及び現金同等物の当期末残高は前期末に比べ60億29百万円増加し、148億833百万円となりました。

株式関連情報 (2020年12月31日現在)

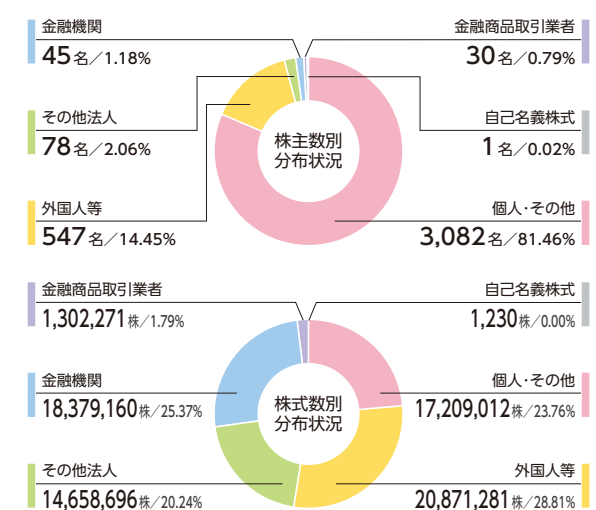
株式の状況

発行可能株式総数	250,000,000 株
発行済株式の総数	72,421,650 株
株主数	3,783 名

大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
坂本ドネイション・ファウンデーション株式会社	6,203	8.56
公益財団法人ホシザキグリーン財団	5,800	8.00
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,380	7.42
ジェーピー モルガン チェース バンク 380055	3,043	4.20
ホシザキグループ社員持株会	2,520	3.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,412	3.33
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	1,638	2.26
一般財団法人ホシザキ新星財団	1,583	2.18
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルク エスエイ 381572	1,348	1.86
坂本 美由紀	1,135	1.56

株式分布状況



国内外ネットワーク (2020年12月31日現在)

ホシザキ株式会社

- ▶ 本社/愛知県 豊明市
- ▶ 島根本社工場/島根県 雲南市

国内グループ会社

- ▶ ホシザキ北海道株式会社/北海道 札幌市
- ▶ ホシザキ東北株式会社/宮城県 仙台市
- ▶ ホシザキ北関東株式会社/埼玉県 さいたま市
- ▶ ホシザキ関東株式会社/東京都 文京区
- ▶ ホシザキ東京株式会社/東京都 品川区
- ▶ ホシザキ湘南株式会社/神奈川県 横浜市
- ▶ ホシザキ北信越株式会社/石川県 金沢市
- ▶ ホシザキ東海株式会社/愛知県 名古屋
- ▶ ホシザキ京阪株式会社/大阪府 大阪市
- ▶ ホシザキ阪神株式会社/大阪府 大阪市
- ▶ ホシザキ中国株式会社/広島県 広島市
- ▶ ホシザキ四国株式会社/香川県 高松市
- ▶ ホシザキ北九州株式会社/福岡県 福岡市
- ▶ ホシザキ九州株式会社/鹿児島県 鹿児島市
- ▶ ホシザキ沖縄株式会社/沖縄県 那覇市
- ▶ 株式会社ネスター/愛知県 大府市
- ▶ サンセイ電機株式会社/島根県 雲南市

海外グループ会社

- ▶ HOSHIZAKI USA HOLDINGS, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI AMERICA, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI SOUTH CENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI WESTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI NORTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI NORTHCENTRAL DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- ▶ HOSHIZAKI SOUTHEASTERN DISTRIBUTION CENTER, INC./米国
- ▶ Jackson WWS, Inc./米国
- ▶ LANCER CORPORATION/米国
- ▶ LANCER DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- ▶ INDUSTRIAS LANCERMEX, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE/メキシコ
- ▶ SERVICIOS LANCERMEX S.A. DE C.V./メキシコ
- ▶ HOSHIZAKI LANCER PTY LTD/豪州
- ▶ HOSHIZAKI LANCER LIMITED/ニュージーランド
- ▶ Lancer Europe/ベルギー
- ▶ Aços Macom Indústria e Comércio Ltda./ブラジル

- ▶ Hoshizaki Europe Holdings B.V./オランダ
- ▶ HOSHIZAKI EUROPE LIMITED/英国
- ▶ Hoshizaki Europe B.V./オランダ
- ▶ Öztiryakiler Madeni Eşya San. ve Ticaret Anonim Şirketi/トルコ*
- ▶ Western Refrigeration Private Limited/インド
- ▶ HOSHIZAKI (THAILAND) LIMITED/タイ
- ▶ HOSHIZAKI MALAYSIA SDN. BHD./マレーシア
- ▶ HOSHIZAKI SINGAPORE PTE LTD/シンガポール
- ▶ HOSHIZAKI VIETNAM CORPORATION/ベトナム
- ▶ PT. HOSHIZAKI INDONESIA/インドネシア
- ▶ HOSHIZAKI PHILIPPINES CORPORATION/フィリピン
- ▶ 星崎香港有限公司/香港
- ▶ 星崎(中国)投資有限公司/中国
- ▶ 星崎冷熱機械(上海)有限公司/中国
- ▶ 星崎電機(蘇州)有限公司/中国
- ▶ 嵐瑟(上海)飲料機械設備有限責任公司/中国
- ▶ 台湾星崎股份有限公司/台湾
- ▶ Hoshizaki Korea Co., Ltd./韓国

*は持分法適用会社。他は全て連結子会社。